

令和4年4月13日 文教厚生委員会 教育長挨拶

皆さん、おはようございます。福井委員長、岩田副委員長をはじめ、委員の皆様方には日頃より教育行政の推進につきまして、格別の御指導、御鞭撻を賜っておりますことにまずもって御礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、学校では、新学期、新学年が始まりました。そこに対して教員の不足が現時点で生じております。何人教員を配置すべきかというところは様々な考え方がございますが、令和4年度これだけ配置をすると決めた以上は、それだけの教員を確保するというのは、ひとえに私の責任でございます。様々な手を尽くしましたが、結果として十分な数が確保できていないことに対して、誠に申し訳なく思っている次第でございます。できるだけ年度中途の採用を、引き続き様々な手段を使って努力してまいりますし、現場の教員、実際の授業に穴が空くという状況では現時点ではございませんけれども、教員が不足している状況で校務等に追われて、例えば教材や授業計画の作成などに支障が生じるということも長期化すれば出てまいります。そういったことがないように教員の負担を軽減することをあらゆる方法を通じて考えてまいりたいと思っております。そして、何よりもやはり来年春に向かっての採用計画、採用活動、募集活動、こういったものをしっかりもう一度できることは全てやると、こういう考え方で臨んでまいりたいと思っております。教員の働き方改革もしっかりでございますけれども、できるだけ負担をどんどん減らしていく、そういったことを念頭に置きながら、教員の採用について引き続き全力で取り組んでまいりたいと思っておりますので、また議会の皆様方の御意見なり、御指導なりを賜ればと思っております。